

特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

平成 28 年度(2016 年度) 事業報告 (平成 28 年 4 月 1 日より平成 29 年 3 月 31 日まで)

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業

内 容 施設管理及び市民活動推進のための事業、多様な主体による協働の仲介を行った。
日 時 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月・通年
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員 19 名
受益対象者 公益活動団体及び関心のある個人
支 出 額 27,868,261 円

2. 社会貢献活動に関する相談、助言事業

(1)余暇支援ネットワーク

内 容 障がい児・者の余暇支援ネットワークの仲介、「キラキラちゃんふる音楽祭」開催を支援した。
日 時 平成 28 年 4 月～11 月、10 月 15 日(土)
場 所 神奈川県立茅ヶ崎養護学校他
従事者人員 1 名
受益対象者 福祉関係者及び一般市民
支 出 額 10,000 円

(2)まちづくりスポット茅ヶ崎運営支援

内 容 茅ヶ崎南西部地区に誕生したまちづくりの交流スペース「まちスポ茅ヶ崎」の運営を行う特定
非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎の運営支援をおこなった。
日 時 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月・通年
場 所 まちづくりスポット茅ヶ崎、茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員 4 名
受益対象者 茅ヶ崎市南西部地区住民及び一般市民
支 出 額 2,274,990 円

3. 社会貢献活動を行なう個人および団体相互の交流事業

単独事業としては実施しなかった。

4. 社会貢献活動に携わる人材育成事業

実施しなかった。

5. 情報の収集と提供事業

(1)コミュニティビジネス応援プロジェクト [コミュニティビジネス P]

実施しなかった。

(2) (仮称)元町計画コミュニティ・コンシェルジュ

内 容 マンションギャラリーを地域の交流の「場」として活用する試みとして、地域活動団体紹介パネルの告知を兼ねた見学会の案内を仲介した。ワークショップが実施できる団体の紹介などのコーディネートを行った。

日 時 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

場 所 ジオ茅ヶ崎フレスシア・マンションギャラリー他

従事者人員 3 名

受益対象者 茅ヶ崎地区周辺で活動する市民活動団体及び一般市民

支 出 額 355,600 円

6. 政策提言・協働に関する調査研究事業

1)新しい公共円卓会議

実施しなかった。

2)企業とNPOのマッチング [企業とNPOPJ]

交流サロンは実施できなかったが、「食」に関連した様々なネットワーク基盤の形成により個々の人材と連携及び拡充、団体との意見交換など地道な活動を行った。

日 時 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター、文教大学他

従事者人員 4 名

受益対象者 市内の企業、大学関係者及び一般市民

支 出 額 0 円

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

実施しなかった。

なお、事業 1 の詳細は別紙 1、事業 2～6 までの詳細は、別紙 2 に記載する。

【別紙 1】

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営とこれに付随する事業

総括

指定管理者 3 期目最後の年度となる今年度は、「IT活用を重点とした情報収集と提供」「相談機能の充実」「NPOの育成」を柱として、他の団体や関連機関との連携を深め、より市民活動団体のニーズに即した支援事業を行った。また、利用者サービスの更なる向上を目指し、ICT活用による窓口業務の効率化では認定NPO法人湘南ふじさわシニアネットと事業協力して運営改善に取り組んだ。

1. 施設の運営に関する業務

(1)ロッカー利用の承認、取消し等に関する業務

事務所を持たない NPO に対して、機材などの備品や書類保管のためにロッカーを貸出。

大型ロッカーを 6 個増設し、4 月 1 日より使用開始。58 団体(大:18 団体、小:40 団体)稼働率 86%

(2)視察対応に関する業務

他市からの行政・議会等の視察に対する施設内外の案内及び説明。

4 月 15 日(金)	センター運営・事業について情報交換	鎌倉市市民活動センター運営会議職員	2 名
-------------	-------------------	-------------------	-----

(3)ロッカー、レターケース利用団体宛のファックス及び郵便物の取り次ぎに関する業務

市民から市民活動団体、市民活動団体同士の物資・情報の仲介をした。225 件。

・熊本地震緊急支援物資集荷仲介(4/23～4/25) 物資2トン分

特定非営利活動法人ちがけせんプロジェクト、防災スイッチオン！プロジェクト

・熊本大分地震オンデマンド支援物資集荷仲介(5/16～8/31) 熊本大分地震オンデマンド支援隊

(4)防災設備チェックおよび職員の災害・緊急時対応訓練

利用者の安全を守るために、防災マニュアルを再点検。

防災倉庫内の防災用備蓄品の在庫状況を確認し、倉庫内備蓄品リストを点検。

事務室内防災用設備・器具点検。

9 月 1 日(木)	かながわシェイクアウト(利用者・職員対象) いっせい防災行動訓練	神奈川県シェイクアウト訓練音声ガイダンスを利用	10 名
8 月 17 日(水)	避難訓練(職員対象)	職員役と利用者役に分かれ、地震・火事を想定した訓練	11 名

2. 市民活動の支援及び市民活動推進のための効果的な事業等の企画に関する業務

(1)市民活動に関する情報収集及び提供に関する業務

ア. 市民活動に関する図書の選定、購入及び管理

・市民からの寄贈で環境、まちづくり関連の本が増えた。

・利用者が読みたい本を分野ごとに絞り込み、貸出の利便性を向上。

・定期購読(神奈川新聞・ウォロ・ビッグイシュー)

イ. 市民活動団体、関係機関が発行する機関紙等、市民活動に関する関係資料等の収集及び管理

- ・市民活動団体の「団体運営・講座」「会員・ボランティア募集」「ガイドブック登録団体の機関紙・イベント(分野別)」および「前述以外の機関紙・イベント(分野別)」を掲示。登録団体のチラシや会報を目立つ場に掲示することで、団体の後方支援をより強めた。
- ・「助成金」「市民公募やパブリックコメント」「公共施設発行物」「他地区支援センターのチラシなど」の情報を収集し提供。

ウ. サポートセンター情報紙の発行(年 3 回以上)およびホームページへの掲載

- ・「さぽせんニューズレター」を年 4 回、各号 2,000 部を発行。
- ・市内公共施設ならびに館内配架の他、市民活動団体データベース登録団体、近隣自治体のボランティア支援施設、市内協力団体・個人・企業へ配布。サポセンの取組みを紹介する資料として活用した。

	発行	内容
vol.49	5/30	サポセン紹介(施設案内、事業の実施スケジュール、市民活動応援プログラム)、個人情報保護法、げんき基金など
vol.50	9/30	上期事業ふりかえり(NPO講座、50 号記念特集、利用者アンケート/懇談会報告)、NPO法人会計基準、意見交換会など
vol.51	1/30	下期事業ふりかえり(居場所づくり交流会、ボランティア塾、ばりあふりーカフェ、NPO講座)、協働推進事業、げんき基金など
vol.52	3/28	ワイワイまつり特集、よるカフェなど

エ. 市民活動団体データベースの作成・管理およびそれを基としたガイドブックの編集・発行、ホームページへの情報掲載

- ・データベース登録団体へ掲載内容および個人情報公開の可否を確認し、情報を更新した冊子を 8 月に発行。登録団体へ郵送、市内公共施設等へ掲示・配架。最新データベース情報をホームページ Web 版にアップロード
- ・茅ヶ崎市内の民間レンタルスペース(14 ヶ所)を HP と紙媒体にて紹介、団体に送付した。
- ・団体情報に変更になった場合は随時受付け、即時にデータベースを修正しホームページ Web 版を更新。また新規で申込があった場合も随時受付け、データベース作成、ホームページ Web 版にアップロード。
- ・登録団体数は、冊子発行時点で 352 団体。3 月末時点で 362 団体となった。
- ・広報ちがさき「市民の活動だより」へデータベース登録団体より毎月紹介し通算 9 団体を掲載。またレディオ湘南「はまかぜちがさき」内で、活動 PR する市民活動団体を通算 10 団体紹介。

オ. 情報コーナーの管理(各団体のチラシ、ポスター等の掲示物の受付管理等)

- ・掲示用ラックと平机を併設し、利用者が見渡ししやすいレイアウトとした。
- ・市民活動団体メモリーファイル(198 団体)を分野別に掲示。タウンニュース、神奈川新聞、広報ちがさき等の切り抜き記事も含め、活動履歴を紹介。
- ・ガイドブック登録団体にニューズレターやイベント案内など、郵送・メールにて年間情報提供 87 件。

市民活動団体より受け付けたチラシ・ポスターの内訳

イベント・講座 セミナー	広報紙 機関紙	会員・ ボランティア募集	補助金 助成金	地域紙	その他	合計
1164	634	90	37	215	85	2225

							(前年比 94 %)
--	--	--	--	--	--	--	------------

カ. サポートセンターホームページの維持管理

- ・ガイドブック WEB 版の更新、修正追加、新規登録を行い対応した。
- ・blogn を使用し、団体からのイベント 1,164 件、センターの事業告知・報告 32 件、助成金等 42 件の情報を提供。
- ・スタッフが Twitter でセンターの最新情報を告知した。2017 年 4 月 30 日現在、フォロワー数 259 名
Facebook フォロワー数 813 名
- ・新年度 4 月 1 日からの全面リニューアルを目指し、茅ヶ崎市との協働事業によるWEB制作で実績のある株式会社 ボンドに制作を依頼。「サポセンイメージアンケート」をとるなど利用者の意見も反映しながら、市民活動に馴染みのない人にも親しみを持ってもらえるようにデザイン・コンテンツを大幅に見直した。また、新ページへの移行に向けて既存データの整理や新たなコンテンツの作成などを行った。

(2) 市民活動に関する相談並びに連絡調整に関する業務

ア. 相談 (152 件)

毎月 1 回 (第 2 月曜日)、事務局長による特別相談日を設けて対応した。

- ・市民活動団体からの相談では、団体をこれから立ち上げる、または活動を始めたばかりという団体から、基盤ができていない段階で協働推進事業やげんき基金補助事業にチャレンジするケースが多く、そのため申請相談では、書類の書き方や事業・予算の組み立て方、プレゼン対策などに加えて、組織運営に対するアドバイスも行った。個人の思いが強いものの、その思いを実現させるためにどのように組織を作って進めていったらよいのか、仲間の巻き込み方がうまくいかなかったり、組織の課題をひとりで抱えて悩んでいる (ように見受けられる) ケースが目立った。
- ・市民活動団体以外では、企業や高校・大学の他、生涯現役応援窓口 (シルバー人材センター) や福祉相談室、行政などお互いに顔の見える連携関連機関からの相談が増えた。
- ・個人からの相談では、居場所づくりに関心を寄せる人、自分の関心興味のある分野の活動に積極的にチャレンジする高校生たちや、ボランティア活動やサポートセンターを介して社会とのつながりを求める心の病を抱える人からの相談が多かった。

相談の内容

施設の 利用	サポセン 主催事業	協働 事業	各種 助成制度	団体の 運営	NPO 法人	ボラン ティア	企業の 社会貢献	その他
3	6	16	12	41	5	31	8	30

相談者の内訳

個人	市民活動団体 (自治会含む)	NPO 法人	福祉施設	学校	企業	行政	その他
38	56	12	9	8	9	8	12

(3) 市民活動推進のための事業の実施及び市民活動団体、市民、事業者、行政との連携推進に関する業務

ア. 市民活動推進のための講演会、講座等の実施 (年 3 回以上)

1) NPO 講座の実施

市民活動をより活発に行う組織力・広報力を高めるための実践講座として、特に活動資金集めと情報発信について講座を開催した。

開催日	概要	参加人数
9月10日(土)	クラウドファンディングで活動資金を集めよう! 資金調達を行う上での手順や仕組み、どのようにしたら支援者の共感を得られるかなどについて講演。 講師:宮本聡氏(一般社団法人ジャパングビング理事兼事務局長)	39名
11月19日(土)・ 26日(土)	日本の市民社会セクター問題を世界の中で考えてみよう 市民活動の課題、重要さを公共哲学と民主主義論の視点から読み解く講座を企画したが、講師の長坂寿久氏(逗子フェアトレードタウンの会代表理事)の急病で中止となった。	-
1月28日(土)	インターネットを活用したNPOの情報発信 「よい団体とは、よい活動とよい情報発信をしている団体である」をモットーに、なぜ情報発信が必要か?今、求められている情報とは?などあらためて情報発信を考える講座。 講師:山田泰久氏(NPO法人CANPANセンター代表理事)	30名

2) 地域の居場所づくり交流会の実施

子育て中のママ、高齢者、障がいのある人など、地域や世代を超えた様々な居場所づくりが市内でも見られるようになり、自分でも取り組んでみたいと関心を寄せる人も増えてきた。地域の居場所づくりについて、学び、語り合うことが市民活動の重要な価値のひとつとなる。今回は対象者を特に設けず多くの人に呼び掛け市外の方々も含め大学生からシニア世代まで多くの参加があり実りある交流会となった。

開催日	概要	参加人数
10月21日(金)	～しる はじめる つながる～ 地域の居場所づくり交流会@茅ヶ崎 第1部:講義「地域の居場所づくりの始め方」 第2部:「トークセッション」～始め方・続くコツ～ 第3部:「交流会」グループ別に意見交換～ 居場所を作るうえで最も大切なことは何か、ゲストスピーカーの続けるコツなどの体験談は参加者の心に響き自分も居場所を作りたい、でも手段がわからないといった意見が非常に多かった。 講師:長田 英史氏(NPO法人れんげ舎 代表理事) ゲストスピーカー ・地域のお茶の間研究所 早川仁美さん ・みんなのサロン「和」 萩原史江さん ・神奈川ゆいまーるの会 古和田勝美さん ・市民自治推進課 大森光貴さん 池田早華子さん	63名

3) ぱりあふりーカフェの実施 佐々木

「街の中で普通に暮らす」ぱりあふりーカフェ「出会って しゃべって つながりたい」

開催日	概要	参加人数
11月29日(火)	～障がいがあってもなくても、もうひとつの居場所《ごちゃまぜカフェ》があつ	51名

場所: 茅ヶ崎市 役所本庁舎1階 市民ふれあいプ ラザ	たら・・・日々の暮らしの中で思うことを話して交流しましょう～ 第一部 8グループに分かれおしゃべり 第二部 4グループにして軽食タイム 第三部 マイクを回して一言ずつ 会場セッティングおよび片付けを障がいのある方メインにボランティア参加 協力: 茅ヶ崎市障害福祉課、NPO 法人茅ヶ崎市障害者施設連絡会 ふれあい作品展(主催:地域作業所連絡会)開催中	
--------------------------------------	---	--

4) よるカフェの実施

よるカフェとは、夜、寄る、縁る、・・・人が出会い、つながり、生まれ、始めるきっかけとなる交流の場。
 今年度は、東日本大震災から6年目の3.11に、よるカフェ団体企画として防災カフェを開催した。

開催日	概要	参加人数
3月11日(土)	第13回よるカフェ「3.11 東日本大震災あれから6年 震度7・津波・地震災害 その時何が生死を分けたのか？」 現地陸前 高田の現状や津波の記録映像の紹介、津波で命を落とさないためにはどうしたら良いか、また地震災害の対策なの自分で出来ることは自分でやるなどアドバイスを受け意見交換を行った。参加者の満足度も高く、このような体験型講座をまた開催してほしいとの意見が多く聞かれた。 講師:内野義生さん(防災スイッチオン!プロジェクト代表)	26名

イ. 市民活動フォーラム(市民活動のPR及び団体交流のためのイベント)の実施(年1回以上)

ちがさきサポセン☆ワイワイまつり2016の企画・実施

茅ヶ崎をより良いまちにしようと活動する人や団体が一堂に会し、「市民活動の楽しさ・おもしろさを多くの市民に伝え」「互いの活動を知り、交流を深め」「力を合わせたまちづくりに取り組むきっかけにする」ことを目的に開催。

市民活動団体を中心に、企業・大学・行政など様々な団体が連携・協力し、中央公園とサポセンの2会場で様々な出会いと交流を生み出した。まつり当日までの1週間をまつりウィークとし、茅ヶ崎駅前ペディストリアンデッキとサポセン花壇の掲示板に幟旗を設置したり、館内の壁面を飾り付け児童絵画展示を行うなどの広報をおこなった。

市民活動団体は主体的に行動し、主催者企画のスタンプラリーにも積極的に取り組んでいた。事業者は売上金の一部を「げんき基金」へ寄付したり、スタンプラリー景品への商品提供や市民活動団体とのコラボ商品の開発など、ワイワイまつりの趣旨を汲んだ参加ができた。また、毎回まつり運営の柱となる延べ55名のボランティアには、準備段階から当日の会場設営・解体、運営補助に尽力していただいた。ほかにも県のNPO 応援サポーター「かにゃお」(ゆるキャラ)は、2つのまつり会場で来場者と楽しいふれあいの場を作ってくれた。

参加団体のふりかえりからは「他団体と互いに協力したり、情報交換ができてよかった」「団結力を感じた」との嬉しい感想とともに、「来場者に地元での活動を知ってもらおうと同時に、市民の思いを受けとめ、新たな活動やさまざまながりを築いていくキッカケとなった」と、市民活動と市民をつなぐ交流の機会を大切にしたいという思いが伺えた。

開催日	概要	参加人数
11月11日(金) 12日(土)	募集要項&参加申込書配布開始(申込〆切12/12(月)) キックオフ交流会 11/11(金)18:00~20:00、11/12(土)10:00~12:00 開催	参加 35 団体
1月7日(土)	場所&プログラム作戦会議 10:00~12:00	参加 35 団体

2月26日(日) 10:00～15:30	<p>参加するたび 私のまちが 好きになるー テーマは「Let it go!」</p> <p>内容:団体が主体となった模擬店、物品販売、体験、ステージの他に、主催者企画のスタンプラリー、さぼちゃんポスト寄贈式、子ども向け防災プログラム「イザ!カエルキャラバン!」を実施</p> <p>メイン会場:中央公園 サブ会場:ちがさき市民活動サポートセンター</p>	<p>来場者 約 8,000 名 参加・協力 81 団体 (初参加 13 団体)</p>
-------------------------	---	--

ウ. 市民活動ネットワーク会議に関すること

研修等を通じて近隣支援センター等との連携や情報交換も日常的な支援に役立てることができた。

開催日	概要	参加人数
4月26日(火)	かながわイーパーツリユースPC 寄贈プログラム第1回支援力アップ研修 @藤沢市市民活動推進センター	1名
4月26日(火)	ボランティアだらけの大交流祭@文教大学	3名
4月26日(火)	平成28年度大和市市民活動推進補助金事業報告会	1名
5月23日(火)	ダブルケアカフェ@さざなみ 松浪コミセン	1名
5月30日(月)	パルシステム市民活動応援プログラム報告・交流会@横浜市スポーツ医科学センター	2名
6月10日(金)	NPOのためのICT基盤強化・支援者育成研修@品川マイクロソフト本社ビル	2名
6月17日(金)	ボランティア活動支援施設スタッフセミナー@かながわ県民センター	2名
6月17日(金)	情報管理についての講座&かながわイーパーツリユースPC 寄贈プログラム説明会@ひらつか市民活動センター	1名
6月23日(木)	JT2016年度NPO助成事業 助成金贈呈式&活動成果発表会@JT神奈川支社	1名
7月19日(火)	かながわイーパーツリユースPC 寄贈プログラム第2回支援力アップ研修「ウェブミーティング」@藤沢市市民活動推進センター	2名
8月19日(金)	NPO 支援機関セミナー@mass×mass 関内フューチャーセンター	1名
9月2日(土)	NPO 支援機関セミナー@mass×mass 関内フューチャーセンター	1名
9月4日(日)	戦略的情報発信講座@ひらつか市民活動センター	5名
9月14日(水)	かながわコミュニティカレッジ NPO マネジメント講座「社会的インパクトを『見える化』する」@かながわ県民センター	1名
10月2日(日)	被災地でつながろう考えようサマープログラム 2016 活動報告会@湘南NDビル	2名
10月4日(火)	多世代近居地域支援検討会議 @横浜市立大学サテライト拠点「UDCN 並木ラボ」	1名
10月4日(火)	ちがさきキラキラビジョン～未来へ届け!!政策提言コンテスト 2016@市役所分庁舎コミュニティホール	1名
10月30日(日)	かながわコミュニティカレッジ災害時に生き抜くためのインターネット活動術@かながわ県民活動サポートセンター	1名

11月5日(土)	第1回多世代居住(近居)のまちづくり担い手養成講座 始めよう多世代居住のまちづくり つながりの場をつくる@ヨロシク♪まるだい	1名
11月10日(木)~11月24日(木)全3回	かながわコミュニティカレッジNPO マネジメント講座「新たな仲間を増やすコツ」@かながわ県民センター	1名
11月14日(月)	ボランティア活動施策推進会議・CEO ミーティング@かながわ県民センター	1名
11月14日(月)	第2回 多世代居住(近居)のまちづくり担い手養成講座@3丁目カフェ 仲間がどんどん増える・関わりが深まる 住民参加のきっかけづくり	1名
11月14日(月)	全国レガシーギフト協会設立記念シンポジウム@笹川平和財団	1名
11月23日(水祝)	市民セクター全国会議 2016 問われる民間の力@聖心女子大学	1名
12月13日(火)	NPOの社会的意義とソーシャルアクション@品川フロントビル会議室	2名
12月17日(土)	地域をよくするお金の活かし方@富士ゼロックスお客様価値創造センター	1名
12月18日(日)	第3回多世代居住(近居)のまちづくり担い手養成講座 ワカモノ・ヨソモノをひきよせる 楽しみながらまちづくり@OISO1668	1名
12月23日(金)	藤沢市市民活動推進センター15周年@藤沢市民会館	1名
1月14日(土)	対話による協働のまちづくり~対決から「対話」へ!@ひらつか市民活動センター	2名
2月5日(土)	パートナーシップ支援事業 2016 2つのプロジェクト現地訪問スタディツアー「熊本復興支援湘南イートチャリティ@鎌倉Dolce far niente」 「NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台@いずみサロン」	1名
2月14日(火)	かながわイーパーツリユースPC 寄贈プログラム第3回支援力アップ研修 「パソコン相談力アップ」@藤沢市市民活動推進センター	2名
2月18日(土)	権利を守るシンポジウム 今よりもっと素晴らしい支援となるために @茅ヶ崎役所コミュニティホール	3名
2月22日(水)	梅田小&商店街のコラ料理の販売 in ショッピングセンター	2名
2月24日(金)	NPO法人湘南地域デザイン法人設立 シンポジウム「..まぜこぜコミュニティをつくろう」@藤沢市民会館	4名
3月7日(火)	平成29年度大和市市民活動推進補助金説明会	1名
3月8日(水)	生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ「ふらっとパル茅ヶ崎」 オープニングセレモニー	3名
3月11日(土)	平成28年度大和市市民活動推進補助金公開プレゼンテーション	1名
3月13日(月)	提案型民間活用制度自由提案型制度説明会@分庁舎5階会議室	3名
3月27日(月)	茅ヶ崎市特別研修「高齢者?シニア?効果的な広報、情報伝達の方法」	2名

エ. 市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会の実施

市民活動団体等と市職員が対等な立場で茅ヶ崎の様々な課題を共有し、それぞれの立場でできること・アイデアを持ち寄って、協働推進事業実施への可能性や、協力し合うことができる接点を探る話し合いの場。

テーマごとにNPO法人NPOサポートちがさきスタッフと市民自治推進課職員がコーディネーターを務めた。

【参加】市民活動団体等:18団体 行政:23市担当課 ★成案化:3件

日	テーマ	市民活動団体等	行政担当課
9月11日(月)	子どもたちへの、地域と行政との協働による学習支援	こども応援丸	教育政策課、学校教育指導課、青少年課
	健康生きがいづくりに関心を持ち地域で活躍できる人材を集める方策 1) 健康アドバイザー・フレイル予防サポーター・未病サポーターの養成 2) 行政との連携による健康をサポートする仕組みや仕掛けづくりの構築	神奈川健康生きがいづくりアドバイザー協議会(湘南地区ネット)	企画経営課、高齢介護福祉課
	市民参加の景観まちづくりに向けた取り組み	NPO 法人アーバンデザインセンター・茅ヶ崎	市民自治推進課、景観みどり課、社会教育課
9月12日(火)	茅ヶ崎市の文化遺産などを全天球画像で後世に残す	メディア茅ヶ崎	秘書広報課、社会教育課
	防災研修の動画配信	認定特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット	市民自治推進課、防災対策課、警防救命課
	茅ヶ崎市のインバウンドに対する関心と施策	YOKOSO! 湘南	産業振興課
	ハマミーナ(茅ヶ崎市南西部複合施設)の有効活用	特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎	拠点整備課、文化生涯学習課、保健福祉課、公園緑地課
9月15日(木)	・未来ビジョンの構想立案のプロセスや体制 ・市の本質的主要問題と未来課題	茅ヶ崎市の未来をデータから考える市民研究会	市民自治推進課、企画経営課
	周知活動について(市内でのイベント/ジュニアサッカー交流会等開催時)	特定非営利活動法人ちがけせんプロジェクト	スポーツ健康課
	①防災活動における新たな場づくり、市民層づくりについて②防災リーダーフォローアップ研修&防災リーダーの活動状態について	ちがさき★みんなのてらごや	防災対策課、警防救命課
	市民による「みんなの認知症予防ゲーム」の普及促進活動	湘南傾聴の会	高齢介護福祉課
9月16日(金)	親子で学ぶ環境問題	認定特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット	文化生涯学習課、環境政策課、図書館
	相模川を利用シカヌー体験をしたり、イカダを作り冒険させる	エルマー	広域事業政策課、公園緑地課、青少年課
	子育て支援、地域コミュニティについて	NPO 法人ワーコレたんぽぽひろば	市民自治推進課、子育て支援課

	社会教育、まちづくり、子ども育成、観光等	湘南まつなみ村健康プロジェクト	市民自治推進課、産業振興課
	①地方創生②戦略的まちづくり③わかもの世代の人口流出(長期ゲスト)→地域ホストに④アクティブシニア層のとりこみ=空家対策・育児支援・生涯学習	ちがさき★みんなのてらごや	企画経営課
9月29日(木)	生後間もない赤ちゃんを育てている母親の支援	子育て支援グループ チーム・ミモザ	子育て支援課、こども育成相談課
9月30日(金)	茅ヶ崎市立病院小児科病棟にて“おもちゃひろば”の定期的開催について	どんぐりさんのおもちゃひろば	病院総務課

オ. 協働推進事業及び市民活動げんき基金補助事業に関する諸手続きにおける市民活動団体への支援

平成 28 年度事業の実施団体に対しては、事業の進め方や広報活動、報告書作成等に関する相談に随時応じた。平成 29 年度実施事業に関しては、昨年同様、市民自治推進課による制度説明会開催の後、特に初めて申請する団体に対しては伴走支援の形で、事業企画や申請手続き、プレゼンテーションに向けてのアドバイスなどを行った。

開催日	概要	参加団体
12月20日(火)、 1月12日(木)	平成 29 年度市民活動げんき基金補助事業 伝わる！企画書作成会 企画書・申請書類の書き方を中心に、市民活動げんき基金の仕組み、公開プレゼンテーションの進め方などを説明。 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	15 団体
3月27日(月)	平成 28 年度実施市民活動げんき基金補助事業報告書作成会 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階	1 団体

また、制度に対する理解を深め、よりの確な支援を行うため、市が主催する下記のイベントに積極的に参加した。

開催日	概要
6月4日(日)	平成 27 年度実施 協働推進事業・市民活動げんき基金助成事業 実施報告会 場所:茅ヶ崎市役所分庁舎 6 階コミュニティホール
8月1日(木)、 8月6日(土)	協働推進事業 制度説明会 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階会議室
12月4日(日)	平成 29 年度実施 協働推進事業 公開プレゼンテーション 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階会議室
3月20日(月)	平成 29 年度実施 市民活動げんき基金補助事業 公開プレゼンテーション/ヒアリング 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階会議室

カ. 市民活動団体・市民・事業者・行政の連携支援

1) イザ！カエルキャラバン！の後方支援

夏休み★宿題かけこみ寺実行委員会の依頼で「イザ！カエルキャラバン！」を実施、防災の「知恵」や「技」を身につけ、地域の防災力のアップにつなげる支援を行うことができた。サポートセンターの事業として定着し、地域の防災訓練として実施できた。

開催日	概要	参加人数
7月23日(土)	NPO 法人プラスアーツ「イザ！カエルキャラバン！」合同研修会参加	2 名

	場所:そなエリア東京	
8月6日(土)	夏休み★宿題かけこみ寺「イザ！カエルキャラバン！」実施 場所:茅ヶ崎市市民ギャラリー	61名
1月29日(日)/ 2月12日(日)	茅ヶ崎市ジュニアリーダーズクラブ「イザ！カエルキャラバン！」研修 場所:青少年会館	17名/ 13名

3月のさぼせんワイワイまつりと同時開催の「イザ！カエルキャラバン！」コーナーでは、推進協やナルク湘南等からのボランティア協力を得て、多くの市民に体験型の防災プログラムを提供することができた。また、おもちゃのかえっこを実施したことで大勢の子どもたちの参加があった。

防災対策課や消防本部、都市部など行政の協力と、モリタ宮田工業㈱など企業からの協力を得て盛大に開催出来た。

2) 行政・大学・関連機関との連携

① 文教大学との定期連絡会

文教大学湘南キャンパス国際学部ボランティア委員会との情報交換。

市民活動団体からのボランティア募集情報や、大学生が参加できる市民活動・イベント情報を提供し、団体と大学生の活動を支援した。(4/19、6/28、9/27、12/6、1/26、3/30の日程で年6回実施した)

② セカンドライフのプラットフォーム

年4回セカンドライフセミナーにて、市民活動についての話をしたほか、市役所本庁舎1階「生涯現役応援窓口」と連携し、シニアの生きがい活動への参加支援を行った。

③ ちがさき丸ごとふるさと発見博物館(丸博 まるはく)企画展 2016/2017

茅ヶ崎市教育委員会社会教育課の丸博事業に協力。丸ごと101～茅ヶ崎を知る101の機会～展への参加(11/29 ぱりあふりーカフェ、2/26 ちがさきサポセン☆ワイワイまつり)。スタンプラリー拠点として参加(11/25～2017/3/5)

④ 地域福祉活動交流会・パネル展示

2月11日(土)保健福祉課主催のイベントに福祉・子育て分野18団体のパネル展示を仲介、搬入協力を行った。

3) 研修受入・主な講師派遣

・主な研修の受入

2月21日(火) ～25日(土)	NPO 派遣研修(5日間)	茅ヶ崎市収納課職員	1名
---------------------	---------------	-----------	----

・主な講師派遣

4月12日(火)	新採用職員研修(前期)講座	茅ヶ崎市職員	63名
6月16日(金)	ボランティア大学講座 「市民活動分野について」 場所:さがみ農協ビル5階大会議室 共催:茅ヶ崎ボランティア連絡会・茅ヶ崎市社会福祉協議会	福祉領域のボランティア活動 初心者	57名

6月19日(日)	神奈川大学経営学部国際経営学科山岡ゼミの授業サポート	神奈川大学3年生・4年生	33名
7月4日(月)	文教大学国際学部キャリア形成講座	文教大学生	130名
7月27日(水)	セカンドライフセミナー「セカンドライフの活動の場としての市民活動」	セミナー受講生	8名
10月3日(月)	場所:シルバー人材センター		9名
11月19日(土)			5名
2月17日(金)			10名
10月7日(金)	新採用職員研修(前期②)講座	茅ヶ崎市職員	21名
10月29日(土)	60代からのさむかわデビュー①「地域活動を知ろう！」@寒川町役場	寒川町民	20名
12月8日(木)	ちがさき健康づくり講座「市民活動について」	食生活改善推進員養成講座第18期生	15名
12月10日(土)	60代からのさむかわデビュー④「自分の地域活動についてイメージしてみよう！」@寒川町役場	寒川町民	24名

(4) 市民活動団体の育成に関する業務

ア. 「ユースボランティア茅ヶ崎」の実施

中学生から大学生くらいを対象にボランティア活動への理解を深め、新たな参加者を発掘するために(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会と共催。ボランティア体験の受入先は、高齢者・障がい者・子ども福祉、子育て・保育、環境保全、芸術文化、地域安全、動物愛護、海外支援などにかかわる21団体。ボランティア体験から社会の一員としての意識と、参加者個人の成長を促し、地域社会の課題と向き合う市民活動の芽を育む活動にもなっている。

開催日	概要	参加人数
7月15日(金)	オリエンテーション 場所:さがみ農協5階 大会議室	89名
7月16日(土)	場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	
7月17日(日)~25日(月)	個別オリエンテーション 場所:サボセン、社協	13名
7月22日(金)~9月15日(木)	ボランティア体験期間(2日以上)の体験)	101名
8月23日(火)	カフェ de ボランティア 場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	45名

イ. 「地域ボランティアエアポート」

高校生のボランティア活動を支援する拠点として周知され、夏休み以外の受入も仲介。

茅ヶ崎高校ボランティア同好会については継続的にサポート。また、北陵高校生ほか希望者に個別にボランティア活動の仲介を行った。

開催日	概要	参加人数
6月12日(日)	高校生のためのボランティア活動応援コース スタートアップ講座 場所:神奈川県立図書館 オリエンテーション	1名
8月28日(日)	高校生のためのボランティア活動応援コース ステップアップ講座 場所:神奈川県立図書館 報告会	1名
1月18日(水)	高校生ボランティア活動支援ネットワーク会議 場所:神奈川県立図書館	1名

	高校生ボランティア活動促進のための環境づくり、現状、支援方策など 高校教育課・私学振興課・実際に生徒がボランティアで単位を取得している 高校の職員ほか NPO、社協など計 16 者が参加	
2 月 22 日 (水)	地域ボランティアエアポート連絡会 場所: 神奈川県立図書館 各地域ボランティアエアポートにおける高校生への支援の状況について グループディスカッション「高校生のボランティア促進」	1 名
月 1 回	茅ヶ崎高校ボランティア同好会校外活動としてボランティア受入 主にユースボランティアやワイワイまつりの準備 ユースボランティアオリエンテーション・カフェ de ボランティア当日には準備・ 受付～片付け、ワイワイまつりではエコステーションなど多場面で参加 鶴嶺高校の東北支援 DVD により、被災地支援の学びを提供	5 名
随時	・高校生と団体・施設とのボランティア仲介 ・次年度鎌倉湘南地区「高校生のインターンシップ推進事業」(鶴嶺高校鎌 倉湘南地区コンソーシアムサポーターより相談)に 5 団体紹介	

ウ. 総合的な学習の支援

課題を見つけ自主的に活動を行う人との出会いやふれあいの中で中高生にできるボランティアを知る。活動している人の声を直に聞き、これまで他人事であった社会課題を自分のこととして捉えることができるようになる。生徒がボランティアや進路についてじっくり考える貴重な機会となった。

開催日	概要	参加人数
9 月 30 日 (金)	「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」1 年生総合学習の授業(講師派遣、仲介)。 ① 全体学習(同校体育館)。代表による講義の後ボランティア塾から発展して 2012 年に被災地ボランティアを行った卒業生(現大学 3 年生と 1 年生)、現地支援の中で知り合った南三陸出身の学生(神奈川大学 2 年生)計 3 名をゲストに迎えた。被災地の現状をスライドで示し講演。また、先輩たちの継続した支援について纏めた資料を配布した。 ② 分科会。生徒が希望団体の講義・ワークショップを受講。(同校各教室等)(市民活動団体 16 団体)	400 名

エ. かながわイーパーツリユース PC 寄贈プログラム

認定 NPO 法人イーパーツ協力のもと、(団体所有の PC で情報収集や情報発信を積極的に行いたい)市民活動団体へ、企業提供のリユース PC を寄贈し、活動を支援するプログラム。藤沢・茅ヶ崎・小田原・大和・座間・平塚・綾瀬・相模原・鎌倉・逗子の NPO 支援センターが連携・協力して 1 回実施した。

神奈川県内の市民活動状況について情報共有を図ると、中間支援組織スタッフの IT スキルアップやつながり促進の機会となっている。

開催日	概要	寄贈団体数
8 月 27 日 (土)	第 13 回 寄贈式および寄贈団体向け講習会 県内合計 34 団体に寄贈・参加。場所: サニープレイス座間	茅ヶ崎は 3 団体に 寄贈

オ. さぼちゃんポスト(切手寄贈プログラム)

家庭に眠っている未使用切手を預かり、市民活動団体へ寄贈する事業が定着し、今年度は7名の方々から52,619円の切手が寄せられた。また、12団体へ合わせて57,000円分の切手を贈ることができ、2月26日(日)ワイワイまつりで寄贈式を行った。寄贈先団体からは、さぼちゃんポストによって情報発信の充実・通信費の軽減による副次的効果等感謝の言葉が寄せられた。

開催日	概要	寄贈団体数
2月3日(水)	審査会:審査員3名、事務局2名にて開催 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	12
2月26日(日)	寄贈式:57,000円分を寄贈 場所:中央公園(ワイワイまつり) エルマー、NPO法人WE21ジャパンちがさき、NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン、茅ヶ崎市聴覚障害者協会、湘南あゆみの会、小出川に親しむ会、NPO 法人 茅ヶ崎ユニバーサルデザインスクエア地域活動支援センター楽庵、NPO 法人 ウェルフェアポート湘南、つなぎの会 茅ヶ崎、茅ヶ崎 良い映画を観る会、NPO 法人 ゆい、アーバンデザインセンター・茅ヶ崎	12 団体

カ. NPO サポーターズ制度

サポーターズ登録者には、定期的に主催事業等の情報提供を行った。毎週土曜日 13:30~15:30 の IT サポート、花壇作業、ワイワイまつり事前準備などのボランティア活動を担ってもらった。

3. 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務

四半期ごとに指定管理業務実地調査が行われ、おおむね優良であることが確認された。

(1) 花壇整備

花壇ボランティア(NPO サポーターズと会員)による植栽デザイン、適切な施肥と除草により、四季折々の草花が道行く人々の目を楽しませ、サポセンの顔として好評を得ている。夏にはラベンダーや窓を覆うゴーヤのカーテンを育てて利用者と分かち合い、募金を「げんき基金」に寄付した。

(2) 環境への取り組み

- ・キャノピースイッチによる不要な照明の消灯など節電に努めた。
- ・市民立太陽光発電所(れんこちゃん1号)については、NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワークに定期的に使用電気量の報告を受け取った。今年度は、自家消費分等にあたる94,855円を同法人に寄付した。
- ・古紙の再利用や使用済みインクカートリッジのリサイクル活動に協力。
- ・主催事業時には、できる限り紙コップや紙皿など使い捨て容器を使用せず、また利用者にゴミの持ち帰り協力を求めるなど、ゴミの発生抑制に努めた。
- ・2月27日(月)~3月9日(木)エコ事業者による省エネ活動展@茅ヶ崎市役所本庁舎1階市民ふれあいプラザにてサポセンの紹介をした。

(3) 駐車場ルールの見直し

利用団体と利用者に対して、アンケート(意見募集箱設置 4/14～5/13)と利用者懇談会(5/22)を実施し、新たにルールを策定。また、列内駐車を誘導するために南北方向にトラロープを敷設した。

(4) C-ブックによる地域資源の活用ならびに社会貢献活動の推進

ガイドブックデータベース登録団体に対して、ちがさき地域通貨 C-リングの循環による社会貢献活動の推進をめざした貸スペース「ハスキーズギャラリー」の使用を仲介。(使用料の半額を充当) 今年度 3 件貸出

(5) サポセン内のコーヒー常設スタンド

引き続き、市民活動団体「サンチャイ ねばるば(旧ネパールの架け橋 ねばるば)」がスタンドを常設。コーヒー1杯につきお米 1kgをネパールに寄付する。サポセンではコーヒー206 杯の売上があった。

(6) パソコン何でも相談

NPO 法人コネット湘南の「パソコンなんでも相談」は、サポートセンター内で第 1 火曜日、第 3 火曜日、年 23 回開設され、ハード・ソフト両面で合わせて 32 名の支援が行われた。

(7) 印刷機サポートスタッフの取り組み

2016 年 6 月より障がい者の就労に向けた体験の場として、自立を目的とした女性を受入れ、キャリアアドバイザー一行成氏の支援を受けながら作業訓練を行ってきた。民間企業への雇用につなげる事を目標に、毎日の体調を確認しながら、基本的なスキルの習得を目的とした準備作業を行ってきた。

色々経験し振返りを行いながら行成氏より助言をいただき、2017 年 5 月で終了する。

【別紙2】

全国公募となった指定管理者応募に注力し、認定 NPO 法人となったことが具体的な動きにできず、各事業の担い手不足、変化に対応する次世代の人材育成の確保などの課題を残した一年であった。

2. 社会貢献活動に関する相談、助言事業

(1) 余暇支援ネットワーク [余暇支援ネットワークPJ]

茅ヶ崎市社会福祉協議会が事務局となり、障がい児・者の余暇支援の情報交換を行った。
余暇支援するネットワーク主催の10月15日(土)「キラキラちゃんぷる音楽祭」に協賛した。

(2) 「まちづくりスポット茅ヶ崎」運営支援 [まちスポ茅ヶ崎支援PJ]

茅ヶ崎南西部地区の商業施設を活動拠点とする特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎の運営に関して、事務局スタッフへのアドバイス、茅ヶ崎市内 NPO 関係者への協力依頼、まちスポ茅ヶ崎が実施する事業全般に対するサポートを行った。

- 1) まちスポ茅ヶ崎のイベントの周知や「まちぼっち通信」の配布などは積極的に行ったが、賛助会員の獲得などに貢献できなかった。
- 2) 「本がだいすきプロジェクトちがさき」の情報提供や市内書店への仲介をした。

3. 社会貢献活動を行う個人および団体相互の交流事業

単独事業としては実施しなかったが、企業とNPOのマッチング事業の中で交流を図った。

4. 社会貢献活動に携わる人材育成事業

実施しなかった。

5. 情報の収集と提供事業

(1) コミュニティビジネス応援プロジェクト [コミュニティビジネスPJ]

実施しなかった。

(2) (仮称)元町計画コミュニティ・コンシェルジュ [(仮称)元町計画PJ]

マンションギャラリーを地域の交流の「場」として活用する試みとして、「ジオ茅ヶ崎フレシア」(茅ヶ崎市元町)のマンションギャラリー内に掲出された地域活動団体紹介パネルの告知を兼ねた見学会の案内、ワークショップができる団体の紹介などのコーディネートを行った。

見学会：6月20日(月)21日(火)

ワークショップ：7月31日(日)チョークアート、8月21日(日)アロマハイストーン、
8月27日(土)はなあかり、2月12日(日)KEEP LEFT、2月25日(土)プログラミング

6. 政策提言・協働に関する調査研究事業

(1) 新しい公共円卓会議 [新しい公共PJ]

本年は、今後の動向を静観することとした。

(2) 企業とNPOのマッチング [企業とNPOPJ]

交流サロンは実施できなかったが、平成 27 年度市民提案型協働推進事業『企業・NPO・行政の協働に向けた「見える化」事業』を通じて「食」に関連した様々なネットワーク基盤の形成により個々の人材と連携及び拡充、団体との意見交換など地道な活動に終始した。これからの経過が先々の種火として存在している。次年度へつながる活動であった。

6. 行政・他機関への委員会委嘱等の協力 [事務局]

派遣等

茅ヶ崎市行政改革推進委員会（年 3 回）
文教大学国際学部キャリア形成授業講師 1 名（7 月 4 日）
地球温暖化対策推進協議会（年 3 回）
社会福祉法人翔の会理事会（年 5 回）
社会福祉法人翔の会評議員会（年 3 回）
多世代近居地域支援検討会議（年 1 回）
かながわ県民活動センターのアドバイザー相談（月 1 回程度）

他セクターとの連携等

文教大学健康栄養学部笠岡ゼミ生・企業等のコラボに向けたプレゼンテーション 4 月 7 日
茅ヶ崎商工会議所賀詞交歓会 1 月 7 日
茅ヶ崎青年会議所新年会 1 月 12 日
認定・指定 NPO 法人ゆるネット学習会 9 月 15 日

後援・協賛

第 4 回ローカルファーストシンポジウム 9 月 14 日 「持続可能な新しいスタイルの再生まちづくり」後援
第 5 回ローカルファーストシンポジウム 2 月 16 日 「ローカル経済が日本をつくる」後援
2016 年度権利をまもるシンポジウム 2 月 16 日 今よりも‘もっと’素晴らしい支援者となるために 後援
「キャンドルナイト茅ヶ崎 2016」12 月 10 日 キャンドルホルダーとして協賛

その他

会員向け情報紙「ハーモニー」の発行

年間 2 回（4 月、8 月）、発行した。

会員やサポートセンターの職員からの寄稿により親睦を深めることができた。また、“さぼちが”の自主事業や認定 NPO 法人取得に向けた経過を報告し、情報共有を図った。

法人運営

1. 通常総会

2016年度通常総会

- 日時：平成28年(2016年)5月18日(水) 15:00～16:10
会場：茅ヶ崎市民活動サポートセンター
出席者数：出席20名、委任状提出11名、合計31名(正会員総数42名、過半数が出席)
議事：第1号議案 平成27年度(2015年度)事業報告の承認
第2号議案 平成27年度(2015年度)収支決算の承認
第3号議案 平成28年度(2016年度)活動計画の基本方針及び事業計画の審議・決定
第4号議案 平成28年度(2016年度)収支予算の審議・決定
第5号議案 組織図の変更
全ての議案は原案通り、全会一致で可決承認された。

2016年度臨時総会

- 日時：平成28年(2016年)10月19日(水) 18:00～19:30
会場：茅ヶ崎市民活動サポートセンター
出席者数：出席18名、委任状提出8名、合計26名(正会員総数44名、過半数が出席)
議事：第1号議案 「茅ヶ崎市民活動サポートセンター」指定管理者募集に応募の件
議案は原案通り、全会一致で可決承認された。

2. 理事会

- 4月06日(水) 茅ヶ崎市民活動サポートセンター第4期目指定管理者となるための業務改善の件
4月13日(水) 2016年度の職員体制について
自主事業の事務局の整備の必然性及びプロジェクトメンバーの募集
4月27日(水) 2015年度事業報告書、決算書について
5月11日(水) 2016年度事業計画、予算書について
茅ヶ崎市民活動サポートセンターITスタッフ募集について
5月21日(土) 代表理事及び常務理事の選任について
7月27日(水) サポセン運営 ICT支援に関する業務委託について
さぼちが業務改善PJ報告について
8月31日(水) 平成27年度委任事業における消費税について
まちづくりスポット茅ヶ崎の運営支援における業務分担及び支払規定について
9月13日(火) 茅ヶ崎市民活動サポートセンター指定管理4期応募に向けて
10月12日(月) 臨時総会について
10月18日(火) 講師謝礼、交通費の支払について
「茅ヶ崎市民活動サポートセンター指定管理者」募集要項について
11月9日(水) 指定管理者応募書類提出及び面談審査について
情報の収集と提供事業「コミュニティ・コンシェルジュ」について
1月11日(水) 茅ヶ崎市民活動サポートセンター指定管理者について
1月25日(水) 茅ヶ崎市民活動サポートセンター第4期指定管理者について

- 2月15日(水) 4期目指定管理の事業計画・予算、ホームページリニューアル等について
3月15日(水) 4期目指定管理の事業計画・予算について

3. 4期目指定管理者

- 9月21日(水) 全体会にて9月21日付で認定NPO法人になったことを報告。
茅ヶ崎市民活動サポートセンター第4期指定管理者応募を前提に、基本方針
①情報発信の拡充②エンパワメント③協働の実践について意見交換
- 10月3日(月) 指定管理者募集要項・公開
- 10月11日(火) 指定管理者募集説明会に出席
- 10月14日(金) 指定管理者募集に関する質問書を提出
- 10月28日(金) 指定管理者応募書の正本1部は受理。黒塗り10部は塗り方不十分のため不受理
- 10月31日(月) 黒塗り10部を再提出・受理
- 11月7日(月) 面談審査に出席
- 12月2日(金) 「指定管理者の候補者」とする審査結果を受理
- 12月9日(金) 茅ヶ崎市議会総務常任委員会において可決
2017年4月1日～2012年3月31日まで指定管理者として指定が決定

以上